

弥生時代の尾張平野

一宮市博物館では、土器や石器などの道具の作り方や使い方、その時代の社会の様子を紹介しています。昔の世界を見に行ったことがないのに、なぜそのようなことがわかるのか、疑問に思ったことはありませんか？

今年度の「尾張平野を語る」では、道具の作り方や使い方をどう読み解くのか、当時の社会の様子をどのような方法で明らかにするのかをご講演いただき、弥生時代の尾張平野の姿に迫りたいと思います。

8/
6
日

石器使用痕から探る 弥生時代の農耕

原田 幹 氏 (愛知県教育委員会文化財保護室)



石包丁 (猫島遺跡出土)

8/
26
土

弥生土器にみる地域間交流 ～円窓付土器を中心に～

永井 宏幸 氏 (愛知県埋蔵文化財センター)



円窓付土器 (苗代遺跡出土)

8/
27
日

弥生土器から何がわかるか？ 一技術・機能、 そして社会的背景

黒澤 浩 氏 (南山大学)



さまざまな形の弥生土器 (尾張病院山中遺跡出土)

時間 午後1時30分～午後3時 (開場:午後1時) **場所** 一宮市博物館講座室

定員 60名 (当日12時30分より整理券配付) **参加費** 無料 (ただし常設観覧料が必要)

交通アクセス 名鉄名古屋本線「妙興寺」駅南口より徒歩7分
ニコニコふれあいバス「博物館西」より徒歩5分
常設観覧料 一般200円(160円)、高校・大学生100円(80円)、小・中学生50円(40円)

※()内は20人以上の団体料金。
※未就学児および一宮市内の小・中学生は無料。一宮市外小・中学生は土曜日無料。
※一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。
※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(付添人1人を含む)は無料。
無料ゾーン たいけんの森・展示ホール・ギャラリーは無料で観覧いただけます。

一宮市博物館 〒491-0922 愛知県一宮市大和町妙興寺2390
Tel:0586-46-3215 Fax:0586-46-3216

● 交通案内図

